

路地百選推薦書

推薦者氏名：山下馨

推薦する路地（のまち）の名称		かくれんぼ横丁		
所在地		東京都新宿区神楽坂地区		
路地のまちの概要	面積	約 14 h a	路地の延長	約 2 2 0 m
	土地利用の概要	神楽坂の中でも路地のある界限は、明治以降、花柳界が繁栄してきたゾーンであり、バブル経済期までは料亭を始めとした接客施設が数多く立地していた。現在は、花柳界ゾーンは縮小し、代わって新たな飲食店舗やこだわりの物販店が増加してきているが、路地回りの風情は今も健在である。		
その他（まちの成り立ち、特色等）	その他（まちの成り立ち、特色等）	神楽坂地区は、江戸以来の街割りの上に、明治以降、花柳界や商店街が展開し、現在も、和の街、粋なお江戸の坂の街として人々に親しまれている。また、職住混在の住宅も多く、都心における豊かなコミュニティゾーンとして息づいている街である。路地・横丁は神楽坂界限の空間的シンボルであるとともに神楽坂を愛する人々が大切にしたいと願うまちの資産の一つである。		

【推薦する理由】

かくれんぼ横丁は、口の字型の動線をもつ花柳界のしつらえ路地で、黒塀とピンコロ石舗装が昔ながらの花柳界地の風情を残している。路地に面する店先には路地園芸が美しく、黒塀越しの樹木の緑と、和風の建物のディテールが粋な空間を演出している。

【写真添付】

